

KYOTO AYABE TORIGAKI AtoZ

水源の里 鳥垣

AtoZ

「鳥垣AtoZ」

発行日 2023年3月31日
文・写真 京都産業大学現代社会学部 滋野ゼミ
伊田稚菜
岡島玉恵
原毅
松本修哉
森悠介
デザイン 水田ウタコ
協力 水源の里鳥垣
滋野浩毅(京都産業大学現代社会学部教授)
写真提供 水源の里鳥垣、綾部市定住・地域政策課、野間和樹
発行 あやべ水源の里連絡協議会





MESSAGE

「鳥垣 AtoZ」は水源の里・鳥垣の皆様のご協力の下、完成しました。お忙しい中、私たちのためにお話いただいたことをこの場を借りてお礼申し上げます。

鳥垣は山あり川ありの自然豊かな地形で、いくつもの滝、シデ山をはじめとする山々、そこに自生する山野草など、壮大な自然を実感することができます。集落の人々のやさしさや強さも魅力の一つかもしれません。

『水源の里鳥垣 AtoZ』を通して、鳥垣の温かさや大きさが少しでも伝わればと考えています。

ABOUT

鳥垣は住民同士の結束が固く、また外部から来た人に対しても温かく迎え入れてくれます。見渡すと、シデ山と草壁川に囲まれた大きなゆりかごのような安心感を与えてくれるような場所です。

水源の里 鳥垣
人口43人 17世帯
2023年3月現在



春 桜並木がきれいに映える季節です。
山菜を沢山採ることもできます。

秋 稲刈りの季節です。豊作を祝って
秋祭りを行います。

夏 お盆には鳥垣出身の人たちが帰って来ます。
その人たちと納涼大会で交流を深めます。

冬 雪が降る中、年頭の行事を行います。
成人の日には山の神に感謝しお祭りを行います。

contents

| | |
|---|--------------------------------|
| A | Akarui-hoshi 明るく照らす星たち |
| B | Bike バイク |
| C | Co-fun (kofun) 古墳 |
| D | Daifuku 大福 |
| E | Early morning 朝早くに |
| F | Fall 滝 |
| G | Gakko 学校 |
| H | Hop-Step-Jump ホップ・ステップ・ジャンプ |
| I | I-turn Iターン |
| J | Jinja 神社 |
| K | Keikoku 鳥垣溪谷 |
| L | Lindo 林道 |
| M | Mito-hiroba 「みと」の広場 |

| | |
|---|----------------------------------|
| N | Noka 農家 |
| O | Omikoshi おみこし |
| P | Paper 和紙の原料ミツマタ |
| Q | Qujo(Kujo) 駆除 |
| R | Radio Taiso ラジオ体操 |
| S | Mt.Shide シデ山 |
| T | Tyorakuji 長楽寺 |
| U | U15 子どもの声 |
| V | Venibanashakuyaku ベニバナヤマジャクヤク |
| W | Water 水 |
| X | Xhime(shime) メ |
| Y | Yokoso! ようこそ鳥垣へ |
| Z | Zettai! 絶対行ったほうがいい |



鳥垣では満天の星空
を見ることができま
す。とりわけ上林地
区には高い建物がな
く、強い光もないの
で、たくさんの星を
見ることができます。
春の桜や夏の緑、秋
の紅葉、そして冬の
雪景色と、どの季節
の風景ともマッチし、
1年を通して壮大な
天体ショーを楽しめ
ます。

明るく照らす星たち

「鳥垣林道」という国
有林に通じる林道が
あります。勾配が緩
やかで緑に囲まれて
いるので、とても気
持ちの良いバイク
ロードとなっています。
未舗装の道がアク
セントになり、絶好
のツーリングコース
として人気を博して
います。

バイク

馬場先には南北に4
基、東西に5基、フケ、
赤岩に石墳3基の計
12基の古墳が確認さ
れています。古墳は周
りより小高いところに
あり、周囲を見下ろ
せる位置にあること
から、この地を治め
ていた有力な人物が
葬られた可能性もあ
ります。そんな馬場
先は小高い丘のため、
鳥垣だけでなく周
辺まで見渡すことが
できます。

古墳



鳥垣の農家民宿や地元の方が作って販売などを行っています。よもぎ味をはじめ、色々な味が美味しくて鳥垣のスイーツとして親しまれています。他にも、とりごぼう飯も鳥垣の名産で、「水源の里フェスタ」や「二王公園まつり」に出店し、好評を博しています。

大福

農家は朝早くからしなければならぬことがたくさんあります。山に囲まれた集落には朝霧がかかります。古くはシデ山はカヤ畑でした。カヤ畑からカヤを持って下りるとき、集落から遠い採集場所になると、帰る距離が長くなるので、一番いい場所でカヤを取りたいと考える人が多かったそうです。

朝早くに

鳥垣溪谷には1から6までの滝があり、1の滝である「おりとの滝」はかつて、地元の人でも知らない滝でした。しかし今では、幼稚園児なども見学しに来るような人気スポットになっており、NHKにも取り上げられるなど、鳥垣溪谷のシンボルになっています。

滝

上林地区には小中一貫校があり、子どもたちはスクールバスで学校に通います。朝には子どもたちの見守りのため、多くの大人がお見送りしてくれます。鳥垣では子どもをとっても大切に考え、集落のみんなで子どもを大切に育てています。

学校

鳥垣散策は、老若男女問わず楽しむことができます。小さな子どもでも行くことができる坂尾呂の里、さらに滝と野草に触れる鳥垣溪谷、そして、本格的な山登りができるシデ山。自分の気分や力量をみて選ぶことができます。

ホップ・ステップ・ジャンプ

鳥垣はIターン者を助けてくれる人が多いそう。村おこしには、「若者・よそ者・馬鹿者」の力が必要だと考え、若者やよそ者を村の人たちが日々サポートしています。鳥垣では若者、特に子どもたちを地域全体で育てようという意識を持って取り組んでいます。自分から働きかけることの大切さを知ったからこそ困っている人を助けることができるそうです。

Iターン



Jinja

神社

坂尾呂神社は鳥垣の集落のシンボリック存在。スサノオノミコトが祀られています。鳥垣だけではなく近くの集落にも氏子さんがおり、神社で行われる行事などは毎回とても盛り上がります。また、市の指定文化財にもなっている木造隨身像二躯が奉納されています。



Keikoku

鳥垣溪谷

おりとの滝をはじめ、大きな滝が6つあります。鳥垣川(小野田川)の源流に位置し、その水が集落の田畑を潤しています。ここではかつて登山会が行われていたこともあり、登山の名所として知られています。溪谷では多種多様な山野草、樹木を見ることができます。登山口付近には溪谷に植生している植物が移植され、気軽に楽しむことができます。



Lindo

林道

山への入口となる「ししばな」から国有林へと鳥垣林道が延びています。周辺には、鳥垣生産森林組合の人たちによって手入れされたおよそ30haの人工林があります。昭和25年以来、村人すべての協力のもと、京都府育林コンクールでは特別賞も受賞しました。先人たちから受け継いだこの林道を現在も大切にしています。



Mito-hiroba

「みと」の広場

シデ山の頂上近くに「みと」という場所があります。ここは平坦で開けた広場になっており、眺めがとてもいい、人気の撮影スポットで、休憩にぴったりの場所です。ちなみに「みと」という呼び名は、「見晴らしの良い場所」→「みどころ」→「みと」という地名になったという説があります。



Nouka

農家

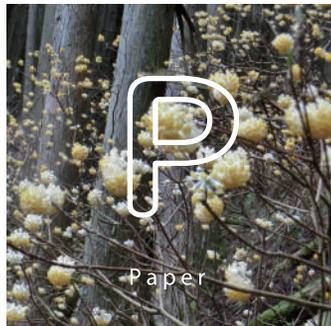
鳥垣には農家が多いです。集落内に農家民宿「和宿オリジン」、旅館「あやべ吉水」があり、ここで農業体験をすることができます。鳥垣では、1年通じて「もち米プロジェクト」として田植えや稲刈り、脱穀に餅つきなど、農作業を楽しむことができ、子どもの課外学習にもうってつけです。



Omikoshi

おみこし

坂尾呂神社にはおみこしがあり、毎年10月第1日曜日に開催される秋祭りでは、それを20人ほどで担ぎます。氏子は鳥垣を含め6集落120世帯ほどと、とても盛り上がりがあります。お祭りは、地域の人と帰省した人とが交流する機会でもあり、みこしを担ぐことで村の結束を高める意味合いもあります。



Paper



Qujo(Kujo)



Radio taiso



Mt.Shide



Tyorakuji



U15

鳥垣では、和紙の材料にもなるミツマタの木を育てており、毎年3月下旬ごろになると、黄色い可憐な花を咲かせます。この木はシカが食べないことも知られており、景観維持のためにも大切に育てられています。ちなみに、シカが食べないものはこのミツマタの他、ニンニクとピーマンだけとのこと。

和紙の原料ミツマタ

シカやイノシシなど、農家にとって有害な鳥獣は、人がいないときを見計らって田畑を荒らしに来ます。そんな時鳥垣では、檻で捕獲したり、電気柵を張ったり、ロケット花火を使ったりして駆除します。隣から花火の音が聞こえると、自分も花火を上げるなど、獣にあちこちに人がいることを知らせることで、獣を傷つけないように駆除しようと尽力しています。

駆除

鳥垣では、夏休みになると、小学生が中心となり、鳥垣公民館でラジオ体操をします。そうすると鳥垣の大人たちは、子どもたちにつられて子どもの人数よりも多く集まり、ラジオ体操をします。大人たちは、子どもの存在の偉大さを感じています。

ラジオ体操

シデ山はかつて、ウドやワラビなど山菜の宝庫でした。また、カツラやケヤキなどの古木がたくさんあり、自然の静けさを感じながら安らぐことができます。シデ山の“シデ”はシデの木から来ていると考えられており、カヤ畑となるその前には、シデの木の林があったのかもかもしれません。

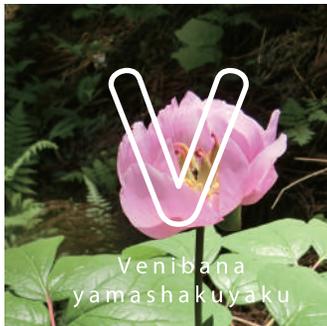
シデ山

明治のころに廃寺となったお寺です。昔はここで勉強するのが習わしだったそうです。天台宗のお寺で、かつては法華千部塔がありました。法華千部塔は水源の里広場に移設されました。お寺の施設は現在鳥垣公民館として利用されており、鳥垣の発展と集落の結束、そして集落以外の人との交流の拠点として愛されています。

長楽寺

鳥垣では子どもたちを大切にしています。それは、子どもの声自分たちの支えになっているからだと思います。集落を維持していくためには子どもたちに鳥垣のことを好きになってもらうことが大切。鳥垣では、昔から子どもに対する支援を手厚く行っており、30年以上一度も子どもの声が途切れたことがないそうです。

子どもの声



Venibana
yamashakuyaku

シデ山では、ベニバナヤマシャクヤクという花をはじめ、珍しい山野草をたくさん見つけることができます。山野草が自生する場所に入るのには危険もありますが、登山口となる「ししばな」に山野草を移植してくれているので、楽しく見ることができます。

ベニバナヤマシャクヤク

鳥垣では雪解け水を、水ポンプで地下から汲み上げ、生活用水として利用しています。また、シデ山から流れる鳥垣川（小野田川）はとてもきれいな川で、鳥垣米を育てるのにも一役買っています。山で冬に積もった雪解け水、そして水源があることから、鳥垣では水に困ったことがないそうです。



Water



Xhime(shime)

昔シデ山は、茅葺き屋根に使うカヤ畑でした。刈ったカヤを山から運ぶとき、直径3mほどに束ねて運んでいました。この束の単位を「メ(シメ)」といいます。シデ山で育つカヤは太くしっかりしており、他のカヤより葺いた屋根が長持ちするということから、鳥垣には今も屋根にカヤを使っている家もあるそうです。カヤを山から運ぶのは村の人たちの仕事。集落のみんなをつなぐものであったそうです。



Yokoso!

集落の入り口にある看板です。この看板をすぎると鳥垣へ入ることができます。鳥垣のみなさんはとても親切で、気になることを聞くとやさしく答えてくれます。ぜひこの看板を目印に皆さん鳥垣に足を運んでみてください!

ようこそ鳥垣へ



Zettai!

あやバスを降りると、上林川、草壁川の向こうにとてもきれいな田園風景が広がっており、空気が澄んでいることがわかります。綾部駅や山家駅から少し距離がありますが、時間をかけてでも見に行く価値のある田んぼ、川、滝、山などの自然風景があります。冬の一面銀世界となった鳥垣の集落の景色も圧巻!

絶対行ったほうがいい



こぼれ話
かしわや
拍屋

鳥垣には拍屋（かしわや）という鶏肉の販売店があり、その肉で焼肉をするのが地元の人達の定番です。拍屋は養鶏場を営んでおり、お肉が新鮮で、さまざまな部位を楽しむことができます。二王公園店では鶏料理をいただくこともできます。



古和田 実(水源の里鳥垣 代表)

豊かな自然や歴史的遺産を活用して、坂尾呂の里、鳥垣渓谷・シデ山など心を癒す安らぎの場所として整備し、都市との交流を行い地域の活性化を図っています。春は、坂尾呂の桜並木、夏は、鳥垣渓谷・おりとの滝で川遊び、秋は、おいしいお米の収穫など楽しみが一杯。一度、鳥垣を体感してみませんか。皆様のお越しを楽しみにお待ちしております。



熊内 輝夫

「自然の水がそのまま飲める!」ことは本当に素晴らしいことだという「ターン」の方の感想に教えられました。豊かな自然は、鳥垣の先人たちが未来のために送ってくれた、かけがえのない宝物だと思います。そこに、子どもの声が聞こえる日々を暮らしていけることに感謝しています。一度、鳥垣で暮らしてみませんか!



櫻井 克彦

昔、カヤ畑として利用されていたシデ山に登山のできる山にしようと呼びかけたのが平成21年。あれから京都府の支援、水源の里指定、国定公園の区域指定などを受けて整備が進み、今では多くの人々が訪れる人気の山となりました。これからも、桜が美しい「坂尾呂の里」、マイナスイオンに満ちた「鳥垣渓谷」とともに眺望抜群の「シデ山」への皆様のお越しをお待ちしています。



野々尾 浩 (鳥垣自治会長)

鳥垣地区は、小さな子どもも安心して暮らせるのどかな村です。上林全域から見ても子どもの数も多く、最近では、Iターンの家も徐々に増えつつあります。それは温かく迎える人たちがばかりだからです。シデ山という人気の観光名所もあり、この先ずっと人が絶えることはないでしょう。みんなで仲良く元気に過ごせればいいですね。



渡邊 博幸

春には、タラの芽、ウド、ヤマブキ。秋には、栗、柿、きのこ、山芋など、山の恵みに感謝です。また、じゃがいも、甘とう、きゅうり、なす、トマト、キャベツ、白菜など、採れたて野菜を口にしています。米は、うまいし、住民は親切で住みよいところです。



伊田 稚菜

短い期間でしたが鳥垣の皆様と関わり、何った魅力が詰まった一冊になっています。鳥垣を知るきっかけになれば嬉しいです。



岡島 玉恵

鳥垣という地域に関わることが出来てとても嬉しかったです。自分の知らない地域の魅力がしれてとても新鮮でした。鳥垣らしさがたくさん詰まった一冊になっています。



原 毅

京都の大学に通い始めてから、コロナ禍なこともありなかなか大学生として活動をできませんでしたが今回綾部を訪れることができ、お話をうかがえたことがとても幸せだと感じることができました。せっかく伺うことができた大切なお話を伝えられるような冊子になっていれればいいと思います。



滋野 浩毅

草壁川の対岸から見る、坂尾呂の里の小高い丘の周りにたたくむ集落にいつも心癒されておりましたが、今回お話を伺って、鳥垣が地形的にも歴史的にも「奥深い」ことを実感しました。次は、2023年4月9日開催の「第1回あやべ水源の里トレイルラン」でシデ山を目指します!



松本 修哉

地元の方とお話をさせて頂いて鳥垣の魅力を沢山教えていただきました。その魅力を1冊にまとめました!



森 悠介

コロナ禍で、お話を聞かせてくださった鳥垣の皆様方に感謝したいです。自然に囲まれた場所で教えていただいた、鳥垣の魅力がたくさん詰まった冊子になっています。